

小学校第4学年 国語科学習指導案

日 時 平成〇年〇月〇日 〇校時

授業者 〇〇〇〇

1 単元名 場面の様子に着目して読み、読書ポスターでしようかいしよう

2 本時の指導 (3/9時)

(1) 目標

○「一つの花」を読み、お父さんの会話文に込められた思いを話し合うことを通して、高い高いをするお父さんの気持ちを読み取り、心の中の言葉を書くことができる。(C 読むこと ウ)

(2) 授業構想

前時では、戦争や戦時中の生活など、物語の時代背景について学んだ。明日は生きていくか分からない状況であったことや好きな物を好きなだけ食べることができなかったことなどについて、全員が理解することができた。

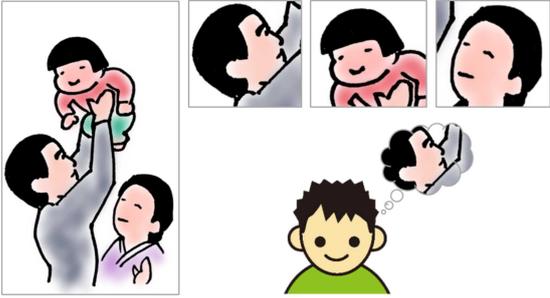
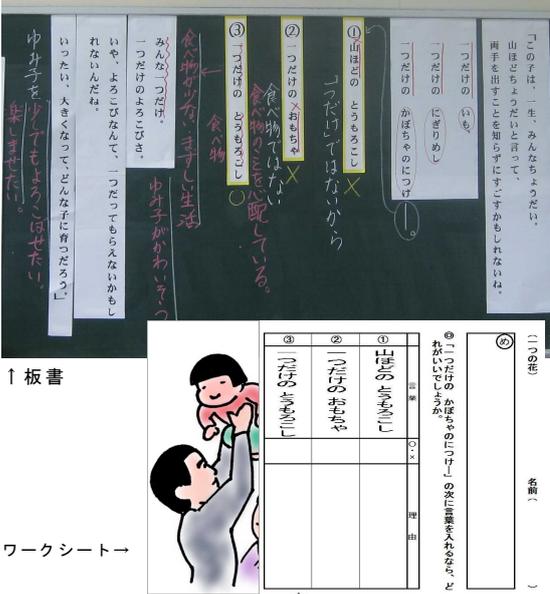
本時では、挿絵の登場人物の表情を手掛かりに、お父さんの複雑な気持ちに気付かせたい。また、センテンスカードを用いることで、全員が、お父さんのゆみ子への気持ちを考えることができるようにしたいと考える。

(3) 展開

学習活動 ・予想される児童の表れ	・指導上の留意点	工夫
1 前時までの学習内容を確認する。 ・戦争中は食べるものが少なかった。 ・飛行機が爆弾を落としていった。 2 挿絵から登場人物の表情を読み取る。 ・ゆみ子は高い高いをしてもらって嬉しそう。 ・教科書に「深いため息をついて」と書いてあるから本当は悲しいのかもしれない。 3 本時の学習課題をつかむ。	・学習した内容を思い出せるように拡大した資料を、教室内に掲示する。 ・想像しやすいように挿絵を提示する。 ・考える視点をお父さんの気持ちに限定するよう指示する。	① 視覚化 ② 視覚化 ② 視覚化
読書ポスターを作るために、ゆみ子が高い高いをするお父さんの気持ちを考えよう。 4 音読後、お父さんの会話文に入るセンテンスカードを選ぶ。(班→全体) 「一つだけの かぼちゃのにつけー」の次に言葉を入れるならどれが良いのか。 ①山ほどの とうもろこし ②一つだけの おもちゃ ③一つだけの とうもろこし	・「一つだけ」「食べ物」のキーワードに気付くように、センテンスカードを提示し、話し合わせる。 ・読み取りの苦手な児童には、言葉掛けをして選んだ理由を明確にできるように助言する。 ・考えを深めるために、個人の意見を基に班で話し合わせる。 ・意見を共有できるように、班の意見を全体に広げる。	③ 焦点化
・戦争中だから、たくさんの物が手に入らないし、「一つだけ」じゃないから①は違う。 ・②は食べ物じゃないから違う。 ・③は「一つだけ」で「食べ物」だからよい。 ・「一つだけ」と言っているから食べ物が少ない貧しい生活だったと思う。 5 高い高いをするお父さんの気持ちを話し合う。 ・お父さんは、貧しい生活が続くから、ゆみ子がかわいそうだと思う。 ・「よろこびなんて、一つだってもらえないかもしれない」と言っているから、今だけでも高い高いで喜んでほしい。 6 本時のまとめをワークシートに書く。 ・ゆみ子はいつもおなかをすかせていてかわいそうだから、高い高いで少しでも喜ばせたい。 ・ゆみ子は貧しい生活をしていてかわいそうだ。 7 次時の予告を聞く。	・高い高いをするお父さんの優しさに気付かせるために、ゆみ子に対する悲しみの理由を確認する。 ・読み取りの苦手な児童には、自分の力で書けるように、板書の中の着目する点を示す。	④ 共有化

3 評価

・高い高いをするお父さんの気持ちを読み取り、吹き出しに書くことができたか。

	写 真	説 明
①		<p>【視覚化】</p> <p>物語の時代背景について確認するために、本文の描写にある戦時中の写真を掲示しました。</p> <p>戦時中の様子について知識が不足している児童や言葉から想像することが難しい児童が、時代背景を理解することができ、お父さんの気持ちを想像することができました。</p>
②		<p>【視覚化】</p> <p>拡大した挿絵を提示し、登場人物の表情に目を向けられるようにしました。</p> <p>拡大した挿絵を用いたことで、全員で同じところに注目でき、お父さんの複雑な表情について話し合うことができました。</p>
③	 <p>↑ 板書</p> <p>ワークシート→</p>	<p>【焦点化】</p> <p>登場人物の気持ちを読み取ることが苦手な児童が積極的に授業に参加できるように、三つのセンテンスカードから適切な言葉を選択する学習を行いました。</p> <p>どの子も、センテンスカードを手掛かりに、お父さんが「食べ物のない貧しい生活」を心配し、ゆみ子を「かわいそう」と考えていることを読み取ることができました。また、ワークシートに考えや理由を書くことで、自分の思考を整理することができました。</p>
④		<p>【共有化】</p> <p>考えの理由を聞き合う活動を経て、班の意見をまとめるように言葉掛けをしました。</p> <p>少人数で話し合うことで、一人一人が自分の考えを話すことができ、自信のなかった児童も、友達の考えを聞き、考えを深めることができました。</p>

指導案に戻る

指導案に戻る

指導案に戻る

指導案に戻る